

和歌山らしい和歌山を作ろう

和歌山大学教育学部 陳瑜

日本に来て、和歌山に来て、もう四か月になった。空港からリムジンバスで来たとき、目に入ったのは緑にあふれる山と、穏やかな雰囲気と住民である。北京とだいぶ違い、静かで、落ち着く町というのが最初の印象である。

和歌山への提言と言えるかどうか、分からないが、此处で、述べたいのはただ個人的な考えだけである。

人が心から好きになる町とは、どんな町だろう。商店街がどのくらいあるか、大きな買い物センターがあるか、色とりどりの看板と店がどのくらいあるか。確かに、便利な生活をするために、それは不可欠なものである。しかし、それだけでは足りないと思う。少なくとも、心から好きになれないと思う。やはり、町での、住民への思いやりが大切なのではないか。

思いやりとは、一見みると、抽象的なことと思われるかもしれない。しかし、些細なことだけで、思いやりになると思う。夜道のライト、道端のごみ箱、整った道路、備わった設備などである。優しい思いやりの言葉、人を癒し、慰めることができ、旅人でも住民でも、温かく感じる。例えば、道で見られる天気予報、注意事項、駅での歓迎言葉、道での励まし言葉、景色のいいところの癒し言葉など、簡単にでき、人に大変いい気持ちを与えられると思う。

和歌山の街づくりを改善するには、大阪や東京のような大きな都会のマネをすることではない。みんな現代的な街づくりをすると、すべての街は同じになったら、意味がない。和歌山は和歌山らしく、自分の特徴を保ち、生かせばいいのではないか。人にいかにも、和歌山的だなと考えさせたら、いいと思う。

では、和歌山的なもの一体何なんだろう。神々しい高野山は和歌山的、玉ちゃん電車は和歌山的、美しい白浜、金山寺味噌、あとたくさん開発されていないパワースポットも和歌山的だと思う。

町が目指すべき姿を「自然・ひと・優しさ、心豊かな暮らし・誇れる地域」と掲げ、それを目標に和歌山らしい和歌山を作ろう。

独一无二的和歌山

和歌山大学教育学部 陳瑜

来到日本，来到和歌山，转眼已经 4 个月。从机场坐线路巴士来和歌山的路上，触目所见皆是绿色，安然的山峰与平和的居民。一个和北京完全不同，温和的，安静的城市，这是最初的印象。

现在我所说的，能不能称得上是建议，我自己也没有把握。只是，想稍微讲一下自己的感受，仅此而已。

一直在想，人能打从心地喜欢上的城市会是怎样的城市。是繁华的商业街的数量，大型购物中心的有无，色彩斑斓的招牌，和纷繁的店的多少么？的确，这些都是方便人们生活不可或缺的东西。但是，我还是觉得只有这些是不够的。至少，无法让人打从心底喜欢上。也许，对于居民的考虑和体贴才是最重要的。

体贴关心，乍看一下，太过抽象。但是，一些细小微弱的事，就已经是巨大的温柔。夜晚的路灯，路边的垃圾桶，整洁的道路，齐备的设施等等。以及一些关怀的标语，可以让人得到治愈，得到慰藉，无论是旅行者还是居民都能感到温暖。比如，随处都可以看见的天气预报，一些注意的提醒，车站的欢迎语，路边的一些励志的话语，景点里的温暖治愈的话。这些都是简单易行，却又能带给别人好心情的事情。

改善和歌山的城市建设，并不需要效仿打扮东京这些大城市。所有城市都一个面孔，那城市的存在就无意义。和歌山应该变成一个独一无二有自己特色的和歌山。让人望一眼，就没法忘记的和歌山。那么和歌山特色的东西是什么呢？神圣的高野山，小玉猫车站长，美丽的白浜、金山寺味噌等，还有很多很多没有开发的被称为治愈圣地的地方。

将“自然、人、体贴、内心充实的生活、地域的骄傲”等关键词作为目标，一起建设一个独一无二的和歌山吧！